

看護体験時の心得

1. 患者さん・ご家族の秘密を守ってください。

看護師の業務や身分を定めている法律「保健師助産師看護師法」に守秘義務が定められています。病院の中で見たり聞いたりした患者さんに関する情報は、病院の外で一切話してはいけません。例えば、「〇〇さんが入院されている」、「〇〇さんの病気は△△である」など、患者さんのプライバシーに関わることは、お家の方や友達であっても決して話さないでください。

2. 自分の健康は、自分で守りましょう。

- ・うがいや手洗いを十分にしましょう。
- ・看護体験中は、清潔に心がけ、患者さんのケアを行う前後には、手洗いを行いましょう。

3. 患者さんの安全に注意してください。

患者さんは、一見元気そうに見えても、体力が弱っていたり、身体が不自由であったりします。ぶつかったりしないように注意してください。

廊下や階段では左側を歩き、急ぐ人のために右側をあけてください。

4. 患者さんや家族の方にやさしい配慮をしましょう。

- ・気持ちよく笑顔で挨拶をしましょう。
- ・皆さんが看護衣を着ていると、患者さんは、皆さんを看護師だと思って、質問をされる場合があります。そのときは、自分の判断で答えず、必ず「私は一日看護体験をしている生徒です。看護師さんに相談してまいります。」と答え、担当の看護師に伝えて、指示を受けてください。

5. 身だしなみを整えましょう。

- ・長い髪は束ねて乱れないようにしましょう。
- ・ネックレス、指輪などのアクセサリ類ははずしてください。
- ・爪は短く切ってください。
- ・体操服、トレーニングパンツを着用する場合は洗濯したものを、また履物はきれいな運動靴を使用してください。
- ・看護衣の生地は薄いです。下着がすけないよう必ずタンクトップ等を着用してください。

6. 私語は慎みましょう。

看護体験中は、生徒同士での私語はしないでください。また、患者さんに不安を与えますので、「えー？」とか「わあー！」など大声は出さないでください。

7. 貴重品など私物の管理をきちんとしてください。

8. 看護体験の途中で気分が悪くなったり、何かあったら直ちに担当の看護師に申し出てください。